

専攻科だより 第24号

平成 23 年 11 月

専攻科行事の報告

■専攻科英語キャンプ 2011

平成 23 年 7 月 25 日(月)～7 月 29 日(金)の 5 日間、「専攻科英語キャンプ 2011」を実施した。参加者は本校専攻科海上輸送システム工学専攻 1 年生 5 名，生産システム工学専攻 1 年生 10 名，計 15 名で，本校マルチメディア教室において実施した。



専攻科英語キャンプは 2006 年度より始まり，今年で 6 年目を迎えた。今年度は，本校と国際交流協定を結んでいるタイのナコンパノム(Nakhon Phanom)大学より教員 2 名，学生 2 名を迎え，英会話授業などを一緒に受講し，国際的な交流を深めた。



今年度の英語キャンプは，合計 21 時間にわたる夏期集中，少人数形式で，プログラムの詳細は以下の通りである：英語

母語話者教員による少人数英会話授業（8 時間），英会話による BBQ 懇親会（2 時間），本校総合教育科英語教員によるリスニング・シャドーイング授業（4 時間），英語プレゼンテーション作成準備・発表練習（4 時間），最終日の英語プレゼンテーション発表会（1 時間），英語能力判定テスト（事前・事後テスト）（2 時間）。



事前・事後テストを分析した結果，事後テストにおいて，参加学生のリスニング得点率が有意に向上した。また事後アンケートの結果，参加学生全員が「英語キャンプに参加してよかった」と答えた。本教育実践により短期間で向上した専攻科学生の英語リスニング力と英語学習へのモチベーションが今後も持続し，さらに向上することが期待される。



■全国高専専攻科実務者会議

全国の高専専攻科が抱える諸問題を議論し，さらなる専攻科の拡充，発展をはかる目的で開催されている全国高等専門学校専攻科実務

者会議が9月15、16日に八代市で開催された。テーマは以下の4つであった。

- ① 学位審査に関する問題点
- ② デザイン教育・共同教育への取り組み
- ③ カリキュラムに関する取り組み
- ④ 海外インターンシップへの取り組み

①では学修成果レポートの内容について議論があったが、学士レベルの具体的内容は得られなかった。②については事例紹介が3高専からなされたが、本校では取り組まれていない。③については次年度から本校も時流に合わせて一部改変する。④についてはこれを単位化することでインターンシップの推進をはかった。今後もさらにより良い教育プログラムにしていくよう検討・見直しを続けます。

■海上輸送システム工学修了式

9月21日に専攻科海上輸送システム工学第5期生の修了式が行われました。修了生は3名で、全員が学位授与機構の試験に合格し学士の学位を取得する事ができました。これで本専攻では専攻科創立以来、合計24名の修了生を送り出し全員が学士となりました。これは学生の日々の勉学に対する努力と、指導教員の熱い指導の賜物と考えております。



■海上輸送システム工学研究中間発表会

9月28日に海上輸送システム工学専攻1年生の特別研究中間発表会が行われまし

た。発表者は5名。「メカノケミカル法によるナノコンポジットゲル (NC ゲル) の作製と力学特性」池田真吾君、「研磨量に及ぼすラップ液の影響について」河内健君、「豊後水道における急潮に関する研究」前田龍弥君、「離島地域の高潮の安全対策について」正岡立巳君、「瀬戸内海離島航路への沖島通船モデルの応用」山中智宏君、上記の題名での発表がありました。中間発表とは言え完成度も高く、素晴らしい内容、発表態度であったと感じました。今後の研究及び学修成果レポートの作成に期待したいと思います。



■海上輸送システム工学入学式

10月3日に専攻科海上輸送システム工学専攻の入学式が行われました。入学生は1名で、乗船実習科を無事修了し元気な顔で入学を許可されました。今後の入学生の勉学と研究に期待したいと思います。

